

協働事業評価に係る意見一覧【推進委員会各委員】

資料10

実施年度	令和 元 年度
提案種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型
事業の名称	ミニ鉄道運転会40周年記念車両製作
団体名	富士見市ミニ鉄道クラブ 富士見部会
担当課名	協働推進課

【評価の内訳】

協働事業の評価	評価数
当該協働事業を実施したことで、具体的に市民サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものである。	10
ほぼ適切な協働事業として評価できるものである。	0
協働事業として、うまく機能しなかった。	0

【事業に関する意見】

1	市が応援することで、広く市民を巻き込むことができたと思う。市民にとって、むさし野緑地公園やイベントでのミニ鉄道は、ふるさとの良い思い出になります。是非続けてください。
2	大人、子ども共に力、知恵を出し合って成功させたミニ鉄道の新車両は、一生の思い出になる素晴らしいことである。
3	製作にあたって、一般市民からのデザインを採用し、色ぬりなどをして新車両が完成した。素晴らしい。
4	事業目的の車両製作については、団体はプロ集団と考えられ、広報関係を除き、団体主体とならざるを得ない中で、協働して事業を行ったと言えるのではないかと思います。ミニ鉄道運転会は、長い歴史を持ち、今後の継続を考えて、新車両製作は必要なことと思う。ただ、市が、直接車両を作るという方法もある中で、団体と協働で作ることにした意図は何か？（市から団体への製作委託という方法もある。）市側に、今後車両は市所有ではなく、鉄道クラブ所有にしていこうという考え（官から民への行政の流れ）があったからだろうか？協働事業と「委託事業」や「補助制度」との線引きが、私には未だ明確には判りかねている。
5	ふるさと祭りで、市民に見せてもらいたい。また、広報の表紙に掲載されれば、より市民にわかりやすい。
6	車両が今後も形として残り、参加者が乗車、また写真などSNSへ上げてもらうなどすれば、より今回の協働事業による成果が広まるのではないかと期待します。ミニ鉄道は市民にとっても親しまれているものと認識しています。開催日に長蛇の列が出来、順番を心待ちにしている子どもたちやご家族がとても楽しそうにされているのを拝見します。40周年の記念事業が協働事業で迎えられたことは喜ばしいことだと感じます。今後も新車両と共に参加者の笑顔を繋げていっていただきたいと思います。

7	<p>ミニ鉄道運転会の40周年記念として、また次に継いでいくために、地域住民と連携して製作活動が行われたことはすばらしく、評価する。</p> <p>団体・担当課の評価の中で、団体側の不満とも取れる評価内容になっていることは残念だが、団体だけでなく、小学生をはじめとした地域住民が参加して記念車両が完成したことは本当に喜ばしい。協働事業として評価できると考えている。</p> <p>今後は、この車両を使って、定期的にイベント等を開催し、より多くの市民に笑顔をお届けしていきたい。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見市独特のコミュニケーション文化と思われる、ミニ鉄道の車両の老朽化を鑑み、主催者団体の電気機関車製作経験の技術と、製作のための部品・材料・加工についての協力企業との連絡調整、事業実施の会場確保・市民への広報を担当した担当課の協働が見られ、多大な市民サービスに資した。 ・40周年を迎えるミニ鉄道運転会使用の市所有の老朽化が進んでいる車両が、協働で新たな機関車が完成したことは、安全性の向上とより多くの市民への親しまれるミニ鉄道運転会の開催につながると思う。 ・製作過程で、外装に一般市民から募集したデザインを採用したこと、外装の塗装の段階で市内の小学生や保護者に携わってもらったことは市民参加の事業としてよかったと思う。 ・取り組みの様子は1回しか見ることが出来なかったが、DVDと文書発表での参加者の笑顔から、明るく元気に取り組んだのであろうと思われた。対応する主催者にも真剣さと愛情が溢れていて、好感が持てた。 ・取り組み過程の様子（取り組み見学とDVDや文書発表等）からみて、今後市民の世代間交流や市民のコミュニケーションの活性化に資していくと思われる。 ・主催者の意欲と技術を受け継ぎ、伝承していく後継者育成も考えてもらいたい。
9	<p>あこがれのある乗り物を市民も一緒に作り上げる作業が、心暖まる事業だったと思う。</p>
10	<p>富士見市民にとって非常に馴染み深いイベントであるが、その中枢である車両のリニューアルを協働事業として実施しようとした発想がうまく実を結んだという感想を持った。</p> <p>役割分担と対等な立場での実施という2つの項目でやや団体の評価が低かったようだが、専門的な製作作業が団体のメンバー主体となるのは、至極当然の結果であろう。これからもミニSLの運転は続けられるという点からも持続的な成果をあげられた点は評価に値する。</p> <p>全く個人的な感想であるが、子どもたちが小さい頃に楽しませていただいたミニSLが、現在も走り続けているということが非常に嬉しく感じられた。</p>